



シラバス参照

タイトル「2016年度 経済学部シラバス」、フォルダ「2016年度 経済学部シラバス」
シラバスの詳細は以下となります。



科目名	グローバルエコノミクス		
担当教員	高田 公		
対象学年		クラス	E1
講義室		開講学期	前期
曜日・時限	火3	単位区分	
授業形態	講義	単位数	2
準備事項			
備考	標準履修年次 2年次		
科目名 (英語表記)	Global Economics		
授業の概要・ねらい	近年の経済活動のグローバル化の急速な進展により、世界における国際貿易、海外投資、国際金融取引などの国際経済活動は大きく拡大し、また世界各国の間での相互依存は高まっている。本講義では、テキストをもとに、世界経済における貿易・投資、金融の動向の実態および問題について把握するとともに、実態を理解するための理論的説明、ならびに問題を解決するための政策について学習する。		
授業計画	(進捗状況等により授業計画を変更する場合がある。)		
	回	内容	
	1	イントロダクション	
	2	国際貿易・投資：なぜ貿易が行われるのか (1)	
	3	国際貿易・投資：なぜ貿易が行われるのか (2)	
	4	国際貿易・投資：なぜ政府は貿易に介入するのか	
	5	国際貿易・投資：なぜ地域統合が行われるのか	
	6	国際貿易・投資：なぜ海外投資が行われるのか (1)	
	7	国際貿易・投資：なぜ海外投資が行われるのか (2)	
	8	国際金融：どのように国際的に資金が流れるのか (1)	
	9	国際金融：どのように国際的に資金が流れるのか (2)	
	10	国際金融：為替レートはどのように決まるのか	
	11	国際金融：どのように為替レートを安定させるのか (1)	
	12	国際金融：どのように為替レートを安定させるのか (2)	
	13	国際金融：どのようにして安定した国際通貨制度を構築するのか (1)	
	14	国際金融：どのようにして安定した国際通貨制度を構築するのか (2)	
15	講義のまとめ		
到達目標	国際経済に関する基礎的知識を習得できる。		
成績評価の方法	学期末の定期試験 (筆記またはレポート) 75 %、および平常点 (小テスト等) 25%により評価する。		
教科書	浦田秀次郎・小川英治・澤田康幸 (著) 『はじめて学ぶ国際経済』 (有斐閣アルマ)		
参考書・参考文献			

履修上の注意・メッセージ	
履修する上で必要な事項	
受講を推奨する関連科目	開発経済学
授業時間外学習についての指示	教科書の授業予定部分について、事前に2、3回読んで予習しておくこと。 また授業後に学んだ内容について整理し、復習すること。
その他連絡事項	



Copyright (c) 2008 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.